JaSST Review’20
オープニング

風間　裕也

JaSST Review’20 開幕！

ご参加いただき

ありがとうございます！

JaSST プレミアムスポンサー協賛企業

その常識、変えてみせる。

SHIFT

Human Crest

VERISERVE

FUJITSU

JaSST Review’20 スポンサー協賛企業

デンソークリエイト

JSTQB

配信会場提供スポンサー

グロースエクスパートナーズ

自己紹介

- 風間裕也
- 株式会社ビズリーチ
- JaSST Review実行委員長
- NPO法人ASTER正会員

お伝えしたいこと

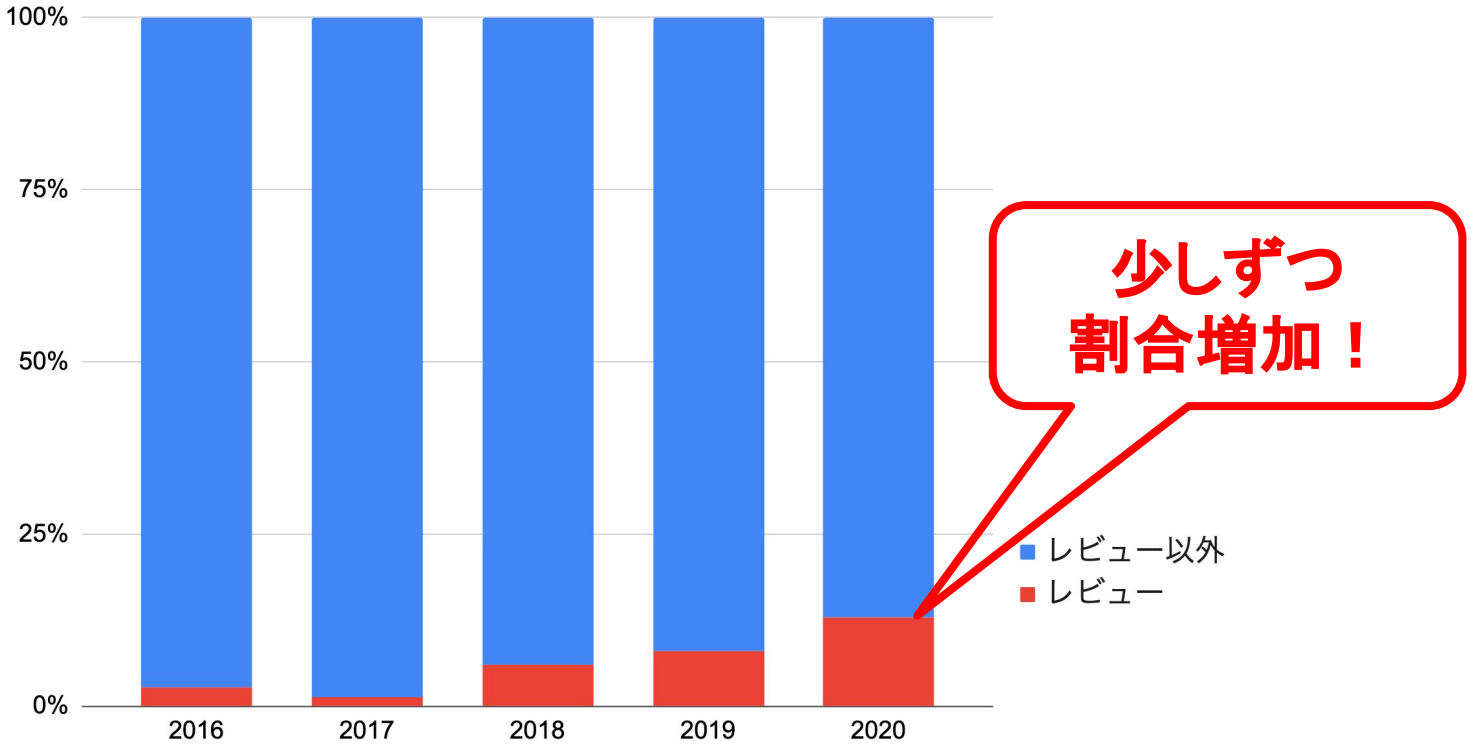
- JaSST Review開催の経緯
  - レビューへの注目度の変化
- 聴講者の傾向
  - 「レビュー」で思い浮かぶものは違う
- JaSST Review’20の狙い
- 発表者への依頼内容
- 事例投稿の採用理由

JaSST Review

なぜJaSSTでレビュー？

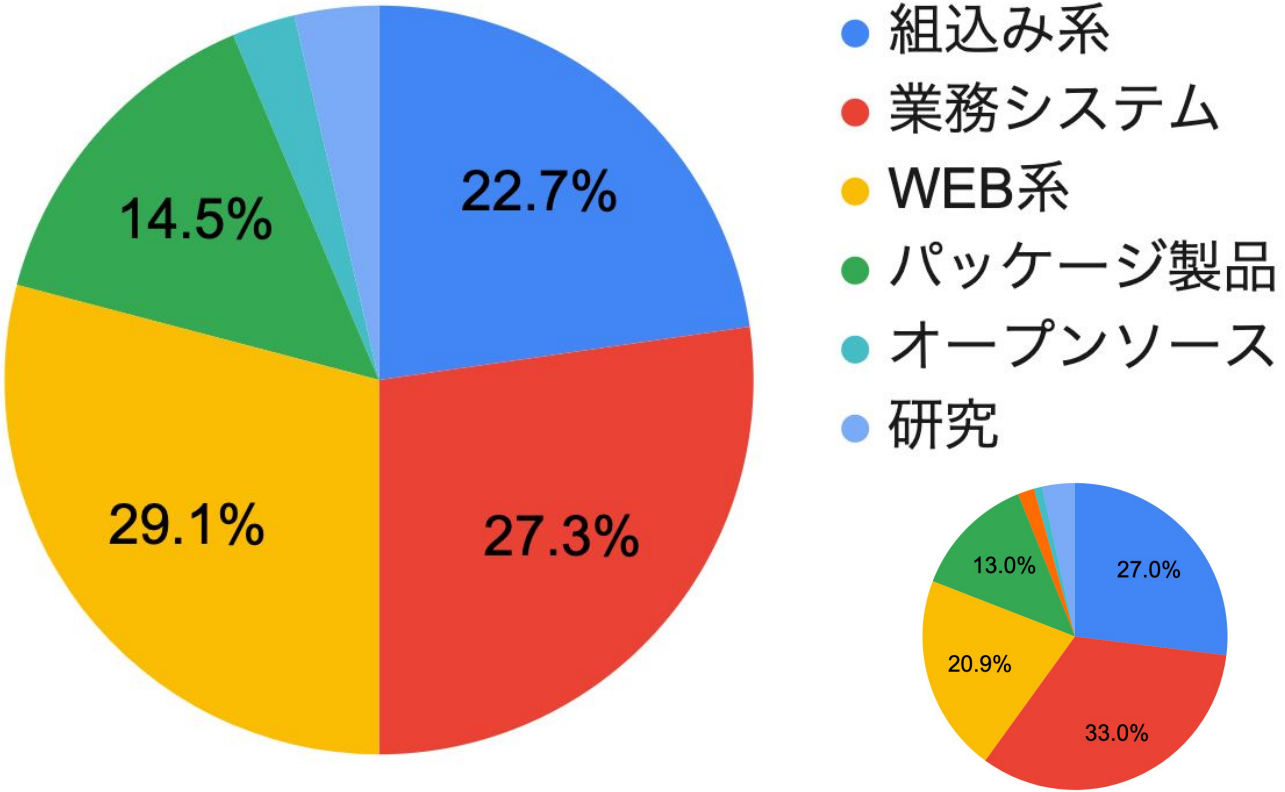
- JaSSTは**ソフトウェアテスト**を扱っているシンポジウム
- JSTQB（ソフトウェアテスト技術者資格認定）には、「**静的技法でテストできる方法の一つ**」として紹介
  - 2019年改訂版ではレビューの**記載文量が約2倍**に
- JaSSTで取り上げる事例の一分野にレビューがある
- 今年で3回目

レビューセッションの割合推移

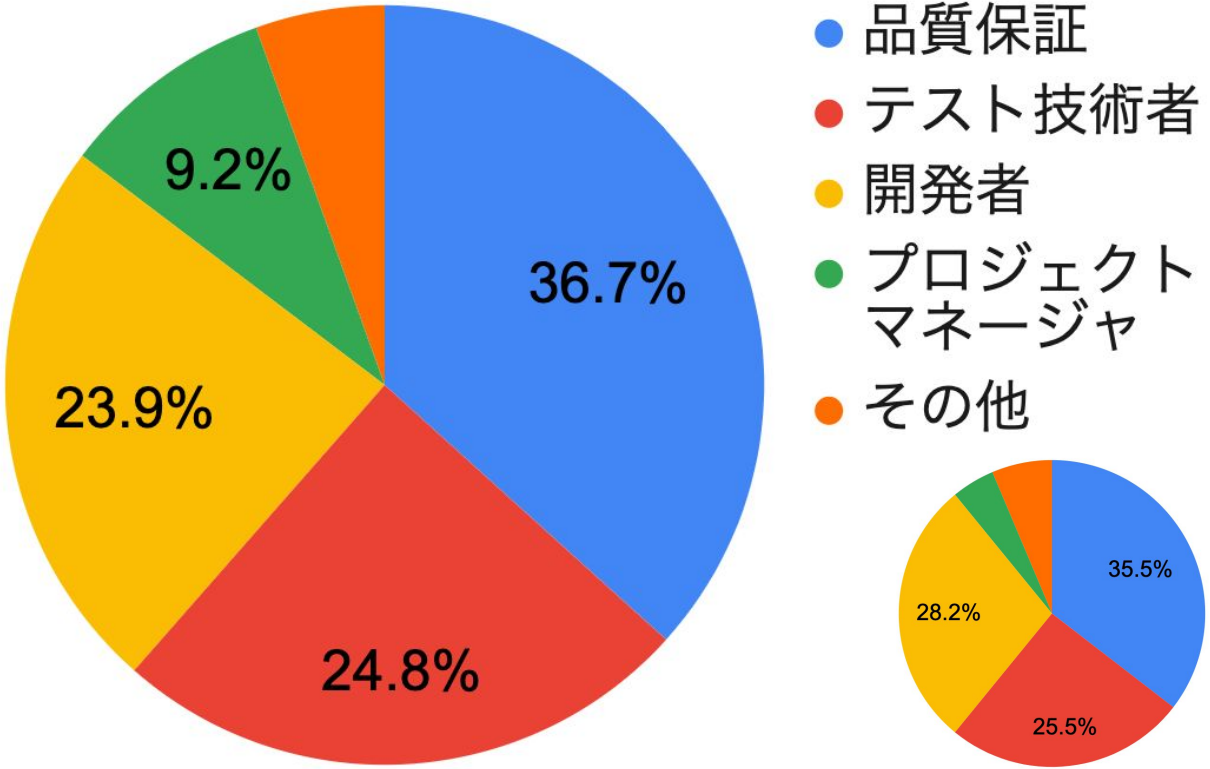


聴講者の皆さんへの
事前アンケート結果

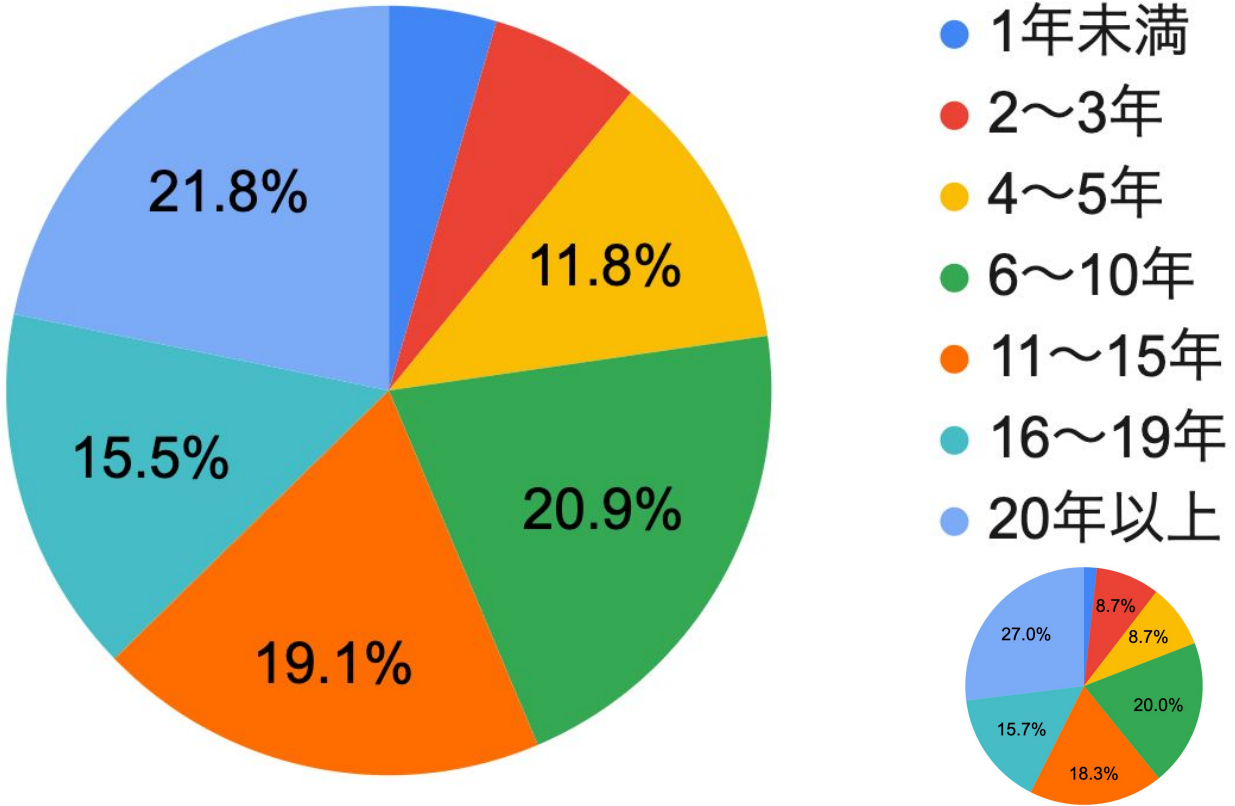
結果1: 製品分野


22.7%
27.3%
29.1%
14.5%
組込み系
業務システム
WEB系
パッケージ製品
オープンソース
研究
27.0%
33.0%
20.9%
13.0%

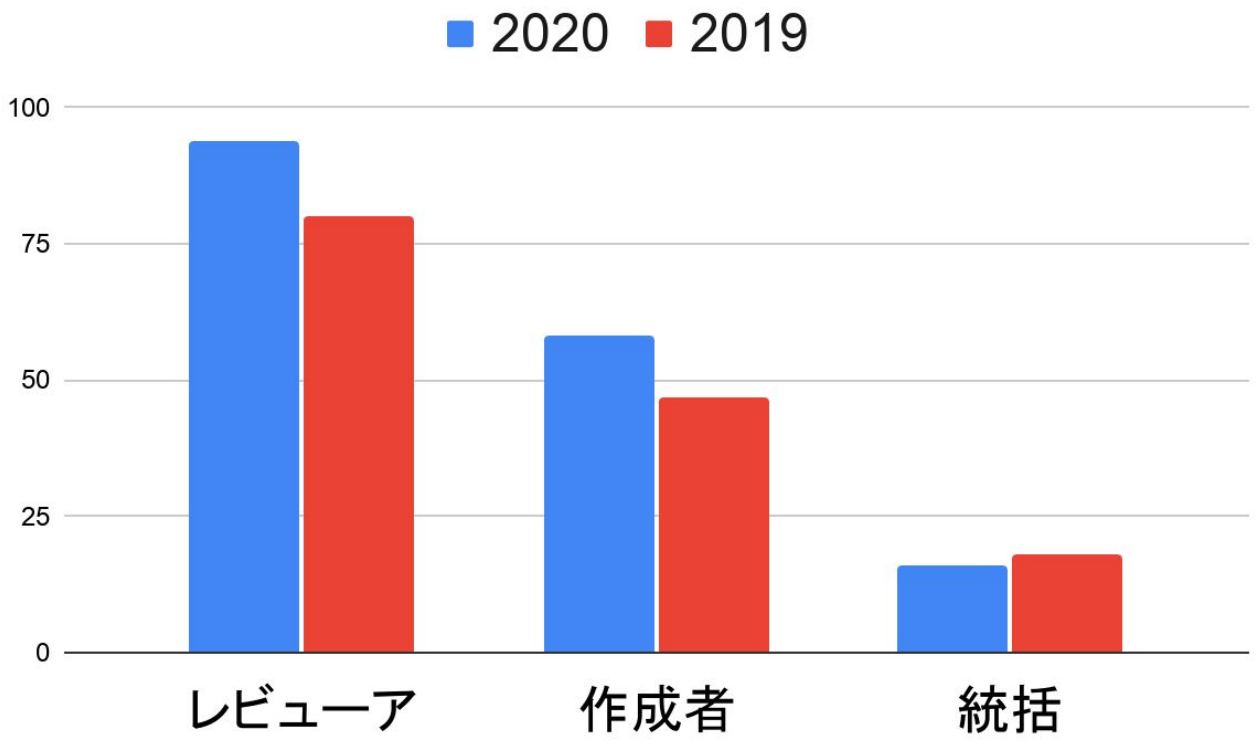
結果2: あなたの役割



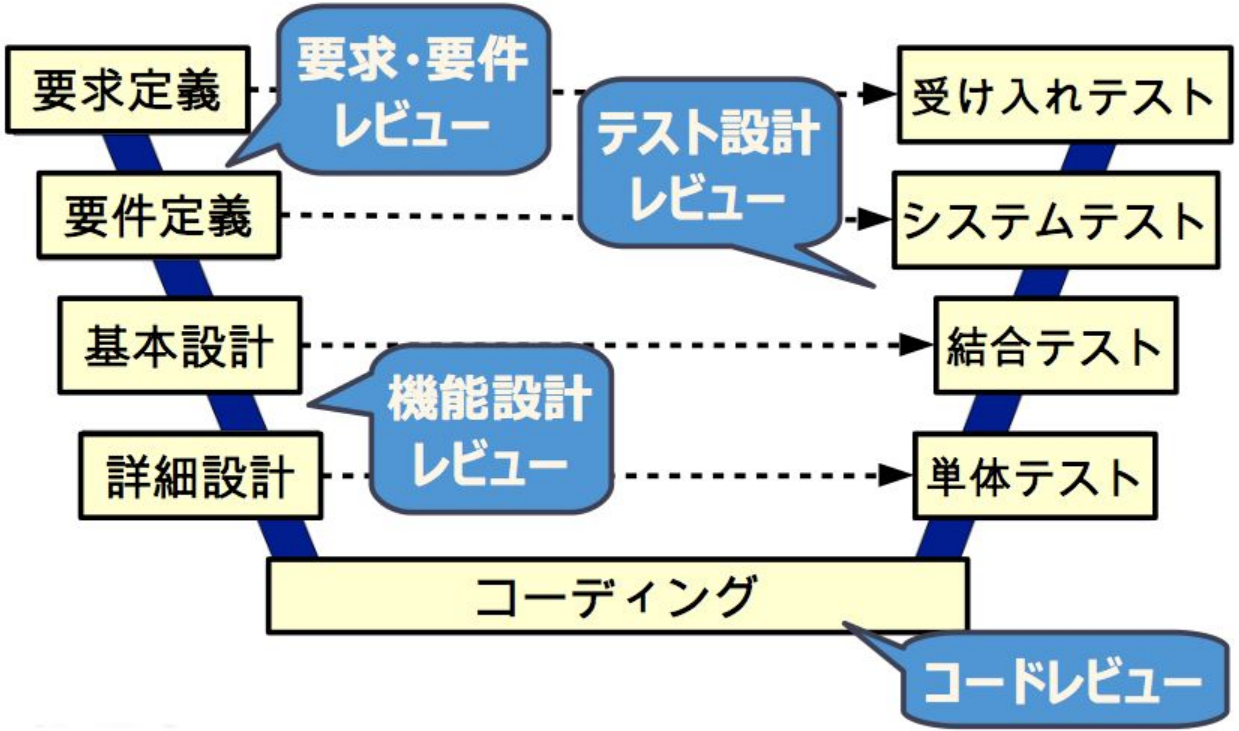
結果3: 業務経験年数


21.8%
11.8%
15.5%
20.9%
19.1%
1年未満
2～3年
4～5年
6～10年
11～15年
16～19年
20年以上
8.7%
8.7%
27.0%
20.0%
15.7%
18.3%

結果4: レビューにおける立場
※複数回答あり

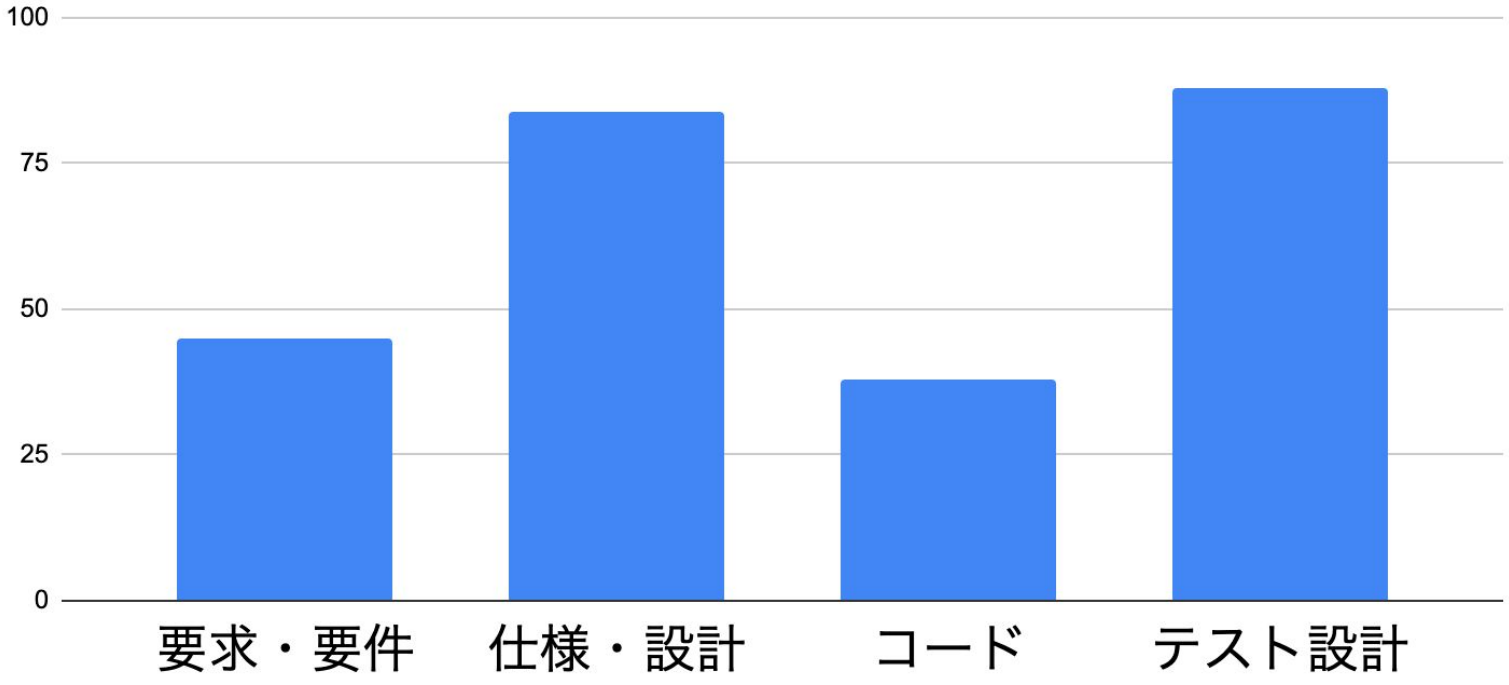


結果5: レビューの対象物

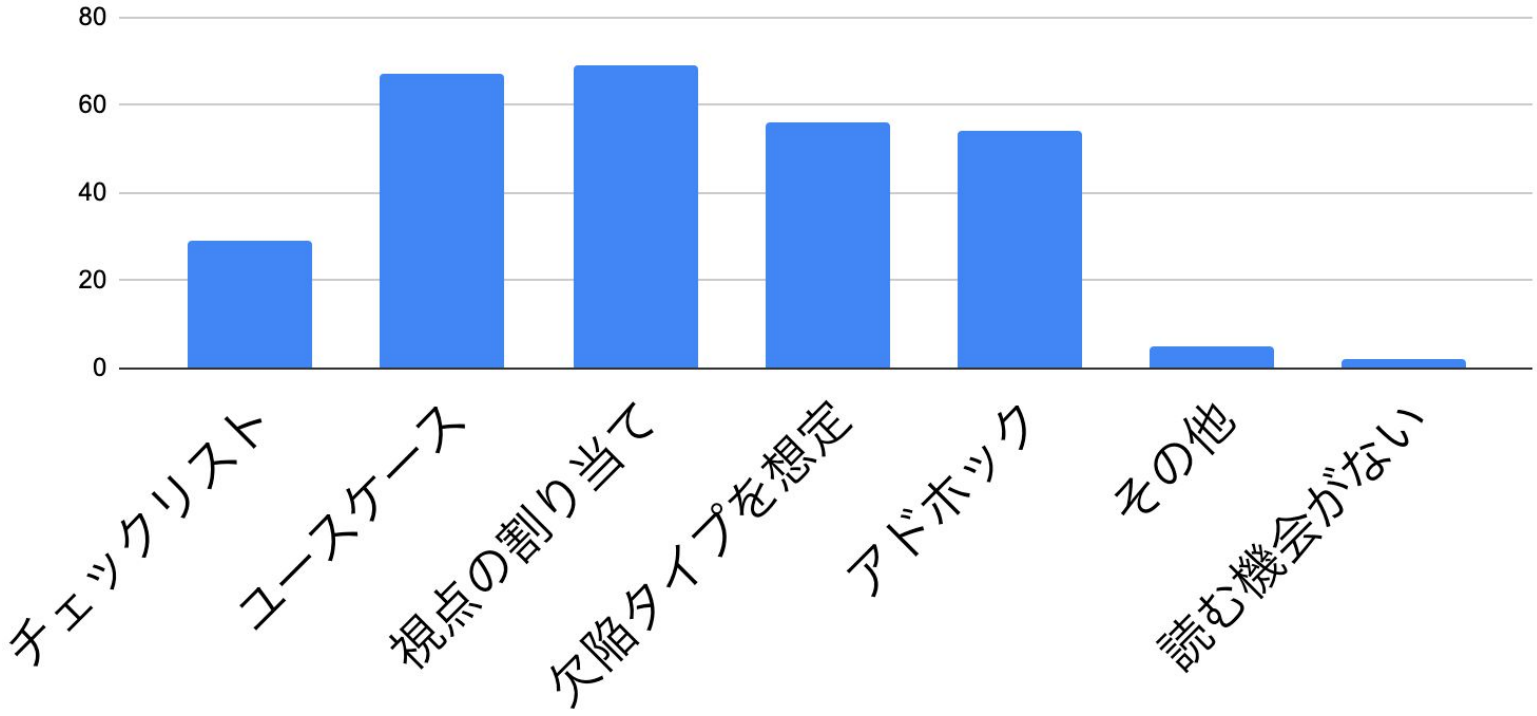


出典：JaSST'12 Tokyo 鈴木三紀夫「Wモデルとは何か」
http://jasst.jp/symposium/jasst12tokyo/pdf/D4-1.pdf を元に作成

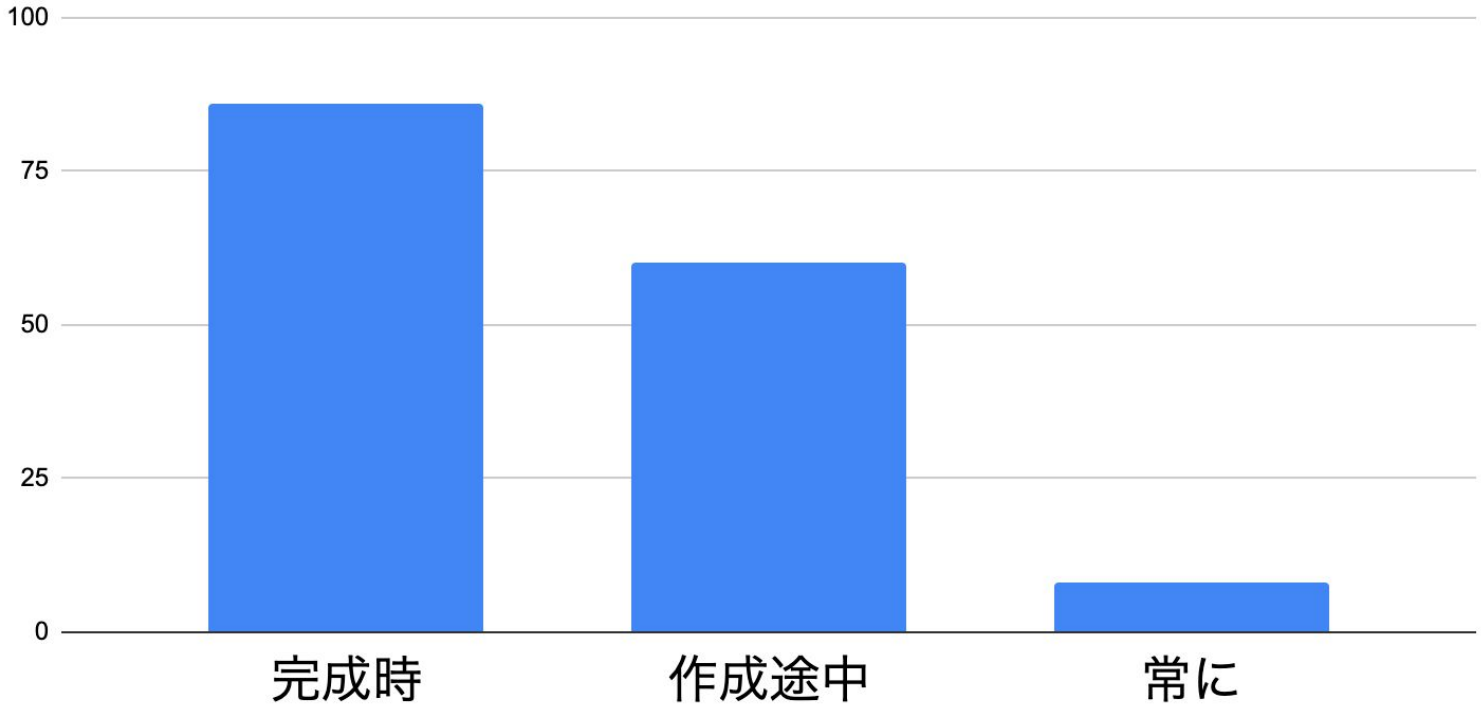
結果5: レビューの対象物
※複数回答あり



結果6: リーディング技法
※複数回答あり



結果7: レビューを行うタイミング
※複数回答あり



JaSST Review’20の狙い

今回のJaSST Reviewの狙い

前回の成果を引き継ぎつつ、より
「レビュー対象にどのようにアプローチしていくのか」
に着目してまいります。

「レビュー対象へのアプローチ方法」
「レビュー対象を探る際の狙い」について、
今回は議論したいと思っています。
（『JaSST Review’20 参加のお誘い』より）

ゴルフでのアプローチ

https://www.irasutoya.com/2016/09/blog-post_809.html

- **準備**で考えたり
  - 1打目はどこに落とすか
  - 今日のホール（穴）はどこか
- **実施中**にも考えを変える
  - 風向き、風速はどうか
  - ライバルの成績はどうか
- **終了後**も考える
  - 明日に向けての調整

歯医者でのアプローチ

https://www.irasutoya.com/2013/06/blog-post_4067.html

- **準備**で考えたり
  - 全体的に歯を見る
  - レントゲン撮影をする
- **実施中**にも考えを変える
  - 虫歯の治療順を決める
    - 患者が痛がってる所から
  - レントゲン撮影の歯を決める
- **終了後**も考える
  - 次回の処置方針は…

レビューでのアプローチ

- 準備で考えたり
  - **会議体（レビュータイプ）の決定**
  - **リーディング技法（レビュー技法）の選定**
  - ？？？？？
- **実施中にも考えを変える**
  - **？？？？？**
  - **？？？？？**
- 終了後も考える
  - **レビューメトリクスの測定**
  - ？？？？？

あまり事例が出てこない
この部分について聞きたい！

各講演者への発表依頼内容

日科技連出版社
鈴木様への発表依頼内容

- JaSST Review実行委員の安達さん著
  『ソフトウェアプロセス改善手法SaPID入門』
  の編集担当
- 小さなてにをはから、話の流れを考えた指摘まで行う

- **どのように**して作者に寄り添い、
  どのような思考でレビューをするのか

ウルフチーフ
川島様への発表依頼内容

- 風間が元々知り合い
- 実際にレビュアーとして参加している場面を見た
- 発表「思考停止しないアーキテクチャ設計」が良かった

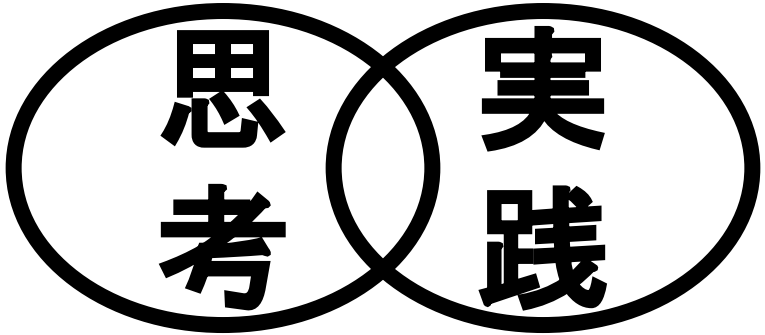
- レビュー時に無意識的に使っている
  「思考」部分の言語化

事例投稿の採用理由

今回はなぜ事例投稿募集をしたのか

様々な方の**普段のアプローチ方法を広く聞きたい**
と思い、実践事例も募集することにいたしました。

今までなかなか言語化されていなかったアプローチ術について、皆さまと事例を交換し、技を知り、議論できればと考えております。（『JaSST Review’20 参加のお誘い』より）



エムスリー
中塚様の事例採用理由

- レビューやソフトウェアテスト以外の分野から
  手法を**採用**したうえで、
  実践しているのが素晴らしかった

- 聴講者は単に手法を真似るだけでなく、
  手法適用時の工夫点を自分たちの現場でも
  活かすことができるのでは？

グロース・アーキテクチャ&チームス
常盤様の事例採用理由

- チームの成熟度に**着目**して**実践している**点が
  素晴らしかった

- 成熟度の**考え方や見分け方**は、
  レビュー内容が改善されないと
  悩んでいる人に有用なのでは？

JaSST Reviewを通じて
改めてレビューを
見つめ直してみましょう！